



放課後等デイサービス

No.025

2025年1月号

発行：株式会社CMDゆうゆう



cocoon (ココーン) 通信



放課後等デイサービスcocoonを支えてくださっているみなさま、2024年は大変お世話になりました。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。久々のcocoon通信となりましたが、今号は、2024年12月開催の「PlayParkC」(プレイパークシー)の報告をさせていただきます。

PlayParkCは、cocoonの冬の公開イベントとして実施してきましたが、2024年は、「Communication」をテーマに、触れ合っ、かかわり合っ、つながって生まれる表現遊びの場に、大切な家族や先生たち、地域のみなさんをお招きすることを目指して、挑戦してきました。

4月は新しいメンバーも迎え、子どもたちはcocoonで大切にやり組んできたことを確認し伝え合いました。5,6月は、身体を動かしながら、「自分のからだ」「あなたのからだ」を感じ、違いを知る活動の中で、身体意識を高めていきました。7,8,9月はペアやグループでリズム遊びやダンスムーブメントを楽しみながら、バランス能力や空間意識を高めました。記憶や創造性を重視したプログラムでは高次認知機能が育まれました。10,11,12月では、いよいよ、お客さまをお迎えする場づくりのための活動が本格化していきました。「身体画」のワークでは影絵の要素も活用して、作成することで、しっかりとポーズをとりにキープする子どもたちの姿がみられました。スタンドグラスのように飾り付けた自分のシルエットは、もう一人の「わたし」。自分の身体と対峙し、仲間との重なりや繋がりもより強く感じながら、身体で表現することに挑む真剣な表情が印象的でした。

2024年12月23~27日の週に無事に開催することができました。どの曜日も多くの方々がご来場くださり、ゲストを迎い入れる立場の子どもたちは、とても誇らし気で嬉しそうでした。

これまでに比べると、パフォーマンス披露の要素より、いつものcocoonの活動を遊びにきてくださった方々にも体験してもらい、共に場を創るといねらいが強かったところが、今年のPlayParkCの特長です。その分、子どもたちにとって、cocoonが「いつ来ても変わらないあたたかいところ」、「誰もが互いを受け入れ合い認め合える場」であるという事実を確認できる貴重な機会になりました。



遊んで育む
からだ・あたま・こころ



遊んで育む からだ あたま こころ

放課後等デイサービス

cocoon

ココーン

1月は、「ふりかえり」の活動から始めていますが、子どもたちの言葉から、あの場に集ってくださった「あなた」が居たからこそ湧き出した感情がしっかりと記憶として残っているのだということが伝わってきて、スタッフはじわじわと感動しています。

年末のお忙しい頃に、PlayParkCにご来場くださったご家族のみなさま、学校関係者のみなさま、地域のみなさま、本当にありがとうございました。また、子どもたちからの招待状が届きましたら、ぜひcocoonにお越しください。一緒に遊びましょう!

めざすところは、 「かかわる全ての人たちの健康と幸福感の達成」



放課後等デイサービスcocoonの活動の基盤は、「ムーブメント教育・療法」です。これは、アメリカの神経心理学者フロスティッグ (Marianne Frostig) が、1970年にその著書を公にして体系化を行った発達支援法で、小林芳文博士らによって日本へ導入されました。その後、日本でも療育・障害児保育等に活用されて、子育て支援の現場での実践も増えています。ムーブメント教育・療法では、対象者の自主性、自発性を尊重し、「動きたくなる環境」の中で、「からだ(動くこと)ーあたま(考えること)ーこころ(感じること)」の調和のとれた発達を図ります。訓練ではなく、楽しみながら体を動かすことで、運動機能、感覚機能を発達させていく方法で、音楽を使ったり、カラフルな遊具を使ったり、豊かな遊び活動による発達支援のために様々な工夫が重ねられています。

一方、最近「ウェルビーイング (well-being)」という言葉をよく耳にするようになりましたが、これは、心身ともに健康で、社会的にも良好で満たされた状態であることを意味し、「幸福」や「健康」、「福祉」の意味にも訳されています。子どもの育成支援においても、ウェルビーイングが重要なテーマとして取り上げられている今、ムーブメント教育・療法に携わる私たちは、あらためてフロスティッグ博士の先見性に感動を覚えています。なぜなら、半世紀も前に、フロスティッグが唱えていたムーブメント教育の中心的な目標が、その頃から既に、「かかわる人全ての生命および人間の尊厳を前提とした健康と幸福感 (Health and a Sense of Well-being) の達成」であったからです。

放課後等デイサービスcocoonでは、この理念に沿って、自由で受容的な運動遊びの環境を活かして、一人ひとりの喜びや達成感、成功体験を大事にしながら、統合的な発達を支援し、子どもの「生きる力」を育んできました。そのためには、課題をスモールステップ化したり、集団の力を活かしながら個別に対応させたりする工夫が凝らしています。また、他者との競争の場面はできるだけ排除しますが、子どもが、チャレンジしたい、できるようにになりたいと感じることは大切にします。挑戦したいという主体的な想いは活動に没頭する経験につながります。引き続き、「拍手」や「笑顔」が溢れる活動で、自分と仲間を大切にする姿勢を育てていきます。

コロナ禍において、共に集い、互いの身体を受けとめ合い、触れ合って遊ぶことを原点とする私たちの活動は、多くの制限を受けてきました。ようやく、何の制限もなく開催できた2024年12月のPlayParkCを終え、当日生まれたたくさんの笑顔、そして、年が明け、楽しかったねと語り合う子どもたちのほんのり成長した姿が、大切なことは何なのか、教えてくれているように感じます。

また、私たちは、あらためて、ムーブメント教育・療法が「かかわる人全て」のウェルビーイングの実現を掲げてきたことの意味も再確認しています。今回の参加者の感想からも、子どもの生き生きとした遊ぶ姿に大人の方が励まされ、集団のかかわりから幸せな気持ちになった様子が分かります。一人ひとりの子どものウェルビーイングのために、子どもを包み込む家族が、個々の家族が生活する地域社会全体が、幸せな場になっていくことが欠かせません。家族支援を重視したムーブメント活動は、遊びを通して、個々の家族の持つ潜在的な力を引き出すと同時に、「子どもたちのウェルビーイングの実現」という目的を共有する人たちと共に場を創ることで、一つ一つの家族が地域社会の中で「繋がって生きる」感覚を体感できる活動としても機能していると言えるでしょう。そのような視点から「笑顔が笑顔を呼ぶ好循環」を目指して、cocoonでは独自の家族支援、地域支援に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

2025年、放課後等デイサービスcocoonは、おかげさまで10年目の節目の年を迎えます。私たちの目指すところは、これまでもこれからも、「かかわる全ての人たちの健康と幸福感の達成」です。利用児童を真ん中に、スタッフ、家族、地域の方々…、かかわる人みんなが笑顔でつながり、「遊んで育む からだ・あたま・こころ」を実現してまいります。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

2025年1月
放課後等デイサービスcocoon
スタッフ一同



参照 ■ 「子どものウェルビーイングとムーブメント教育」
(大橋さつき著, 大修館書店)



最新情報はSNSをチェック！のぞいてみてください！

日々の楽しいプログラムの様子、
子どもたちの作品、スタッフの気づき等々…。
放課後等デイサービスcocoonの楽しい毎日を更新中。
ぜひのぞいてみてください。フォロー、いいね！もお願いします。



●利用者募集中●

放課後等デイサービス cocoon(コクーン)
〒226-0025
神奈川県横浜市緑区十日市場町863-11
ハーモニータナカ2号室
TEL : 045-530-0641
FAX : 045-530-0642
MAIL : cocoon@cmdyouyou.com

※定員により利用できる曜日に限りがあります。
ご利用を検討中の方はどうぞお早目にご相談ください。

アクセス



横浜線十日市場駅から、線路沿いに徒歩3分

